

# 第1回庭野平和賞奨励賞



アリサ・コトルンナダ・ムナワロ・ワヒド氏

(Ms. Alissa Qotrunnada Munawaroh Wahid)

主たる所属組織： グスドゥリアン・ネットワーク

肩書き： ナショナルディレクター

国籍： インドネシア

生年月日： 1972年生まれ

宗教/信仰： イスラム教

## 1. 贈呈理由

庭野平和賞奨励賞委員会は、第1回庭野平和賞奨励賞をアリサ・コトルンナダ・ムナワロ・ワヒド氏（インドネシア）に贈呈することを決定しました。

アリサ氏は、第4代インドネシア大統領である故ワヒド大統領の長女として生まれ、父の遺志を継承し、「多元的イスラム」「寛容のイスラム」をインドネシア社会に浸透させるべく、自ら「グスドゥリアン・ネットワーク」を設立しました。国内過激派による、偏見と抑圧、激しい暴力の下にある少數派宗派の権利を全面に立って擁護し、巨大セメント工場建設による土地の収奪や生活環境の破壊に反対する疎外された農民の支援に奔走するなど、イスラムにおける人道主義を社会活動において具現化し、全国的な運動へと発展させました。また、国内最大のイスラム団体「ナフダトゥル・ウラマー（ウラマーの覚醒）」の家族福利研究所の事務局長を務めています。

庭野平和財団は、多文化主義、民主主義に立脚した穏健な女性のイスラム運動家としても知られ、インドネシア社会、およびインドネシアのイスラム内における平和に向かって、精力的、平和的、人道的な姿勢でその実現に近づいていくアリサ氏の活動は、まさに庭野平和賞奨励賞の求める、萌芽的、実験的、且つ宗教的精神に基づく平和のための活動そのものであると賞賛し、本賞を贈呈するものです。

## 2. 写真



グストゥリアン・ネットワーク全国集会にて（アスマ・ハジ・ヨガ・タリア）

(2018)



海上救急船（グストゥリアン・ケアの人道活動として）（2022）



SDGs 諸宗教フォーラム：持続可能な財務収支の最適化について

（2022）



イスラム寄宿学校の生徒たちと（アブドゥル・ラーマン

ワヒドホールにて（2019）



グストゥリアン・ネットワーク全国集会にて（2018）



グストゥリアン・ケアによるコロナ救援（2021）



基調講演 グストゥリアン・ネットワーク全国集会にて（2018）



グストゥリアン・ネットワーク全国集会にて（アスマ・ハジ・ヨガ・タリア）

（2018）

\*The copyright of all photos are under Gusdurian Network Indonesia